

研究課題

教科の学習にアクティブ・ラーニングを取り入れ、自ら考える力をつける

副題

～思考力・判断力・表現力，読書力を高めるICTの活用～

キーワード

アクティブ・ラーニング，読書力

学校名

北九州市立清水小学校

所在地

〒803-0841
福岡県北九州市小倉北区清水二丁目13-1

ホームページ
アドレス

<http://www.kita9.ed.jp/kiyomizu-e/>

1. 研究の背景

本校はH25年度から、子どもが主体的に学び合う授業づくりや読書活動の研究に取り組んでいる。これまでに市教委の委嘱研究や理科教育研究大会及び自主発表会等で実践研究の検証を行ってきた。研究の課題として、読書活動では、自主的な読書活動の創造、読書活動年間指導計画の授業実践後の追加・変更、新たな単元の計画を行うこと。また、児童が主体的に学び続ける授業づくりでは、子ども司会団の司会力の向上、話し合いのレベルアップ、授業での資料等提示の工夫を行うこと。言語学習環境の整備では、思考活動を高める思考語彙や教科に関わる知識語彙の学年発達段階に応じた系統化と授業での活用を行うこと。これらの課題を解決し、児童自ら主体的に読書活動を行う環境整備、児童が主体的に学び続ける授業での司会力、話し合い力の充実、授業での資料等提示の工夫、思考活動を高める思考語彙や教科に関わる知識語彙の学年発達段階に応じた系統化など研究を進め、子どもが主体的に学び合う授業改善を行う。

2. 研究の目的

子どもたち一人一人が自ら考える力を付けるため、アクティブ・ラーニングを学ばせ思考力・表現力・読書力を高める授業改善の研究を進め、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習でのクラスワーク、グループワーク、パーソナルワークの質を高めるICT活用をめざすことを目的とする。

3. 研究の方法

実践研究は国語科と理科を中心教科として、ICTを活用した授業研究と研究発表会、読書量を増やすブックウォークの取組を行う。

研究の柱として、以下のことを行う。

- ①課題解決型の学習で課題解決する際の情報収集・処理としてのICT活用
- ②パーソナルワークがグループワーク、クラスワークで活用しやすいICT活用したワークシートの開発
- ③児童が主体的に学んだ後の振り返りを児童間で視覚的に共有できるICT活用
- ④読書活動を児童が主体的に行えるブックウォークのICT活用

4. 研究の内容・経過

2月20日 児童のICTスキルの実態調査（1年～5年）

4月 8日 研究組織・年間研究計画・研究授業計画づくり

5月 1日 講師を招き、研究の内容やブックウォークの研修（講師；井上教授）

5月27日 ブックウォークの見える化ソフトの開発開始

6月 8日 国語科と理科，算数科の授業研究 （授業者12名，講師招聘1名）

8月28日 研究発表会指導案・紀要作成 （校内研究授業，発表会授業準備）

9月 1日 ブックウォークの見える化ソフト活用研修
ブックウォークの開始と自由に閲覧

9月14日 国語科と理科，算数科の授業研究

（授業者15名，講師招聘1名）

11月20日 北九州市小学校理科教育研究大会及び国語科，算数科等の本校自主発表会で授業及び講演
（参加者 170名 授業者22名，講師招聘1名）

12月 2日 研究の柱の検証実践研究のまとめ

1月20日 研究紀要作成開始

2月10日 研究の年間総括と次年度の方向づくり

5. 研究の成果

（1）課題解決型の学習で課題解決する際の情報収集・処理としてのICT活用

観察カメラ（タイムラプスカメラ）を理科学習の問題解決学習で、撮影した連続画像は連続した動画として保存，メダカの産卵する様子や花が開く様子など撮影して，その変化をみんなで見て問題解決の資料として使うことができた。そのことで，メダカの産卵の様子が身近となり卵の観察に興味を持つ児童が増えた。



（2）パーソナルワークがグループワーク，クラスワークで活用しやすいICT活用したワークシートの開発

- ・教員が，課題解決型の学習（発見学習，問題解決学習，体験学習，調査学習）でアクティブ・ラーニングを取り入れ，パーソナルワーク→グループワーク→クラスワーク→パーソナルワークの学習形態のサイクル化を積み重ねることで，子どもの主体的な言語活動を促すことができた。
- ・単元の導入学習を踏では，学習課題と学習計画をパーソナルワーク・グループワーク・クラスワークを経て決めるようにした。自分たちで決めた学習課題が主体的な学びを生み出すことにつながった。
- ・「読むこと」と「書くこと」を関連させて単元構成を行い，単元導入で見通しが持てる学習課題を設定することで，長い単元であっても，毎時間の振り返りを大切にすることで，常にゴールを見据えた学習となった。
- ・パーソナルワーク・グループワーク・クラスワークという活動形態を工夫して取り入れることにより，本来文章を書くことを苦手とする児童も友達と話し合うことで自信をもったり，アドバイスを

受けてよりよい文章に書き換えたりするなど、1 単位時間の活動を活性化させることができた。また、的確な教師の出番を仕組むことにより、めあてに沿い効果的な学習活動を展開することができた。

- ・児童の思考力を高めるために、個人やグループワーク、全体交流を通して、自分の考えたことを整理・記録し、学習の足跡として残せるようなワークシートを工夫した。作品や視点を変えての比較思考を行ったり、自分の考えやその理由、学習のまとめの記述など工夫したりした。その際、文字数を限定して提示することにより、児童は学習したことを振り返り、再構成しながら記述することで、思考力を高めることを目指し、書くことについては、文字数も念頭に置いてまとめることができる子どもが増えてきた。
- ・学習の場面に応じた思考語彙表や教科で使える語彙表を掲示することで、児童の思考が高まり、言語活動も充実していった。1年生の算数科では、操作した結果を言葉で説明することができるように、これまで算数科の授業の中でつかわれた語彙をまとめた一覧「さんすうことば」を教室に掲示し、順序よく説明することができるようになった。また、5年生の国語科「提案する文章を書こう」では、「提案文の語彙」を教室に掲示すると共に、個人も所有し、提案文を書くときに積極的に活用することができた。

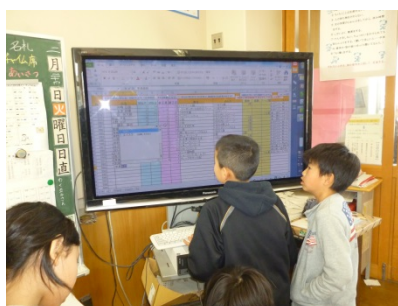
(3) 児童が主体的に学んだ後の振り返りを児童間で視覚的に共有できるICT活用

教員が、子ども自ら考え進める「子ども司会団」による授業を進めることにより、子ども自らが学習の主体者としての自覚をもち、子ども同士が協力し合いながら学習を進めていくことで、コミュニケーション能力、自発的な学習力、思考力・判断力・表現力が育つことが進んだ。また、学習最後の振り返り学習で、学びの質が深まり、知識・技能が定着し、学習意欲が高まりを期待し、書画カメラを活用し児童の振り返りを視覚的に写しまとめを行った。一人一人の振り返りが学習のまとめとなり、コミュニケーションや思考・表現に必要な語彙力の拡充を図ることができた。



(4) 読書活動を児童が主体的に行えるブックウォークのICT活用

「本と一緒に生活し、生活と一緒に本を読んでいこう／あわてず、ゆっくり、だけど目標を決めて歩いていこう」「宣言書・読書カード・認定書」の3枚のカードによって、一定の時間、自由な方法で読書する内容や方法を決め、読書意欲を高め、着実に、多読の読書を行うきっかけづくりができた。



6. 今後の課題・展望

- ・思考操作をし易くできるワークシートの開発とICT活用によるグループワーク、クラスワークの質の向上（デジタルワークシートの開発）
- ・系統的な知識習得のため、知識語彙集、思考語彙の学習に応じて掲示（デジタル語彙表）
- ・自主的学習力（ラーニングスキル）の育成を学びの中で身につけさせるため、司会力の学年発達段階によるレベルアップ（司会語彙の獲得）
- ・ブックウォーク宣言と読書状況の見える化による教室や特別教室からの自由閲覧
- ・読んだ本の読書紹介をパソコン室や教室のパソコンから登録し、データベース化して自由に閲覧

7. おわりに

平成25年度から進めている一斉指導からの脱却をめざした授業改善によって、自ら学ぶ力を身に付け学力を高める取組を進める中で、子どもが目を輝かせ自信を持って学習する姿やグループ学習で自分の考えを発表し満足そうな笑顔、司会団が授業を進め輝いている姿、一人一人が相手のことを考え自分の役割を遂行できる学級の姿が見られるようになってきている。

本年度は、研究主題を「学ぶ意欲・考える力を育てる授業の創造」～思考操作を意識した学習過程～として、昨年度の取組をより深化させ、国語科・理科及び各教科等において研究を進めている。また、課題解決的な学習によって学ぶ意欲・考える力を育成する授業づくりの研究を進めている。特に、課題解決的な学習を行う上で必要とされる、思考活動や思考操作の系統を工夫する研究の推進を図っている。研究の着眼を①読書活動年間指導計画による読書活動を取り入れた授業づくり、②児童が主体的に学ぶ授業づくり③学習環境の整備（司会語彙・思考語彙など掲示、学校図書館での学習機能強化、ブックウォーク等による読書力を高める）の3つとして進めている。

日々の授業改善によって、学校研究が進化している。その一端を、北九州市立小学校理科教育研究大会及び自主研究発表会で、国語科、算数科、理科、の教科と特別支援学級2学級の授業公開を行った。

更に学校研究の深まりを追究し、児童の自立した学習・活動する姿が見られることを期待したいと考える。

<参考文献>

- 『文部科学省「小学校学習指導要領解説理科編」』 東洋館出版社 平成20年8月
以下すべて 井上一郎 編著
- 『記述力がメキメキ伸びる！小学生の作文技術』 明治図書, 2013
- 『思考力・読解力アップの新空間！学校図書館改造プロジェクト』 明治図書, 2013
- 『話す力・聞く力の基礎・基本』 明治図書, 2008
- 『話す力・聞く力の基礎・基本を育てる－小学校－』（上・下巻） 明治図書, 2008
- 『「読解力」を伸ばす授業モデル集』（上・下巻） 明治図書, 2005
- 『「読解力」を伸ばす読書活動』 明治図書, 2005
- 『誰もがつけたい説明力』 明治図書, 2005
- 『ブックウォークで子どもが変わる』 明治図書, 2005
- 『読む力の基礎・基本』 明治図書, 2003
- 『読書力をつける』（上・下巻） 明治図書, 2002
- 『自学力育成プログラム』 明治図書, 2014